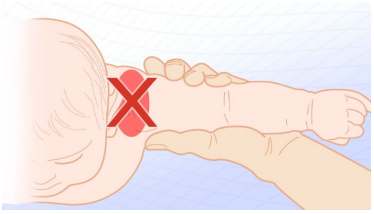
乾燥BCGワクチン（経皮用・1人用）
接種方法と注意点

接種部位

写真提供　公益財団法人結核予防会



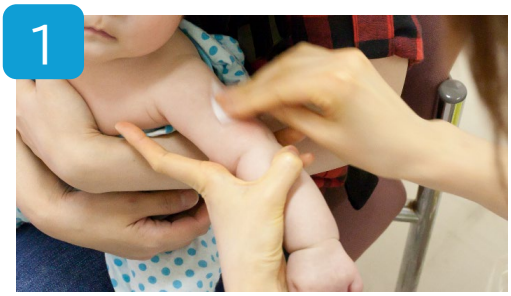
上腕外側のほぼ中央部です。
これ以外の部位に接種しないで
ください。



特に肩に近い部位に接種すると
ケロイドを生じやすくなるので
絶対に避けてください。

接種方法

1



■ 接種部位の消毒

接種部位をアルコール綿で消毒し乾燥させます。
BCGが死滅するので、ワクチン液の滴下の前に
アルコールがよく乾いていることを確認してください。

2



■ 上腕の固定

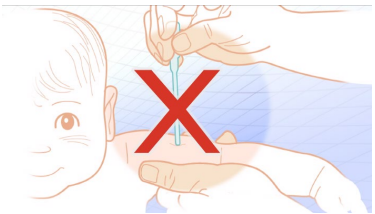
被接種者の上腕を下から握り、ほぼ水平に固定します。
ワクチン液をスポイトで泡を立てないように
ゆっくり吸い上げます。

3



■ ワクチン液の滴下

スポイトを垂直かわずかに傾けて大きめの1滴のワクチン液を滴下します。
通常、1滴で十分ですが、不十分と思われた場合さらに1滴、滴下してください。



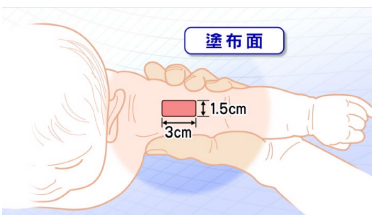
スポイトの先端が皮膚に触れないように注意してください。

4



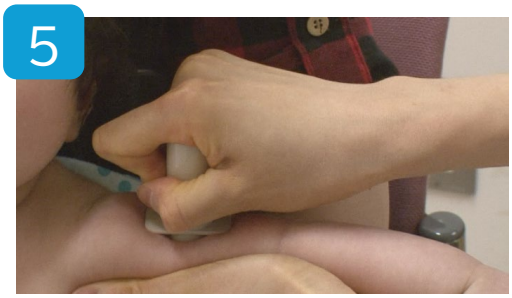
■ ワクチン液の塗布

滴下したワクチン液を管針のツバの側面で上腕の縦方向に沿って塗り広げます。
このとき、ツバで強くこすり塗布層が薄くなりすぎないように注意します。



上腕の縦方向に沿って
幅約1.5cm、長さ約3㎝程度の
範囲に塗り広げます。

5



■ 押圧 1回目

ワクチン液を塗り広げた後、管針を皮膚面に垂直に保持し、
上腕部を下から支えている手で強く握って接種部位の皮膚を
緊張させ、ツバの両端が皮膚に十分つくまで、通常、
皮膚が5～6mmへこむ程度、管針を強く押して接種します。

6

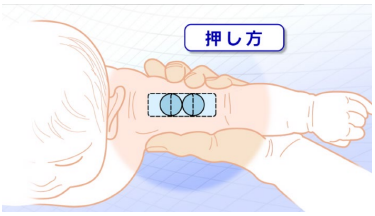


■ 押圧 2回目

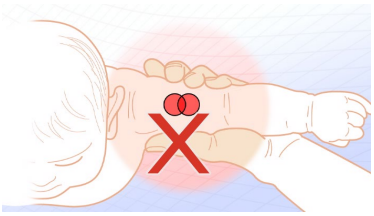
接種のための押圧は**2回**行います。

必ず2回押圧

押し方の注意点



管針の縁でできる円跡が腕の縦方向に
ならんで相互に接するようにします。



2カ所の接種が互いに重なると、
針痕の反応が融合し、局所反応が
強くなるおそれがあります。
また、管針を押すとき、管針を
ねじらないように注意します。

7



■ 塗布

押し終わったら、ワクチンを塗り広げたときと同様に
ツバの側面で皮膚上のワクチンを2～3回針痕になすりつけます。

8



■ 自然乾燥

接種した針痕から少量の出血をみることがありますが、
そのまま放置します。
接種部位は**自然に乾燥**させてください。

もし接種の方法を誤った場合も**押し直しはできません**。

「接種不適当者を含む注意事項等情報」等は電子添文をご参照ください。

接種方法の動画をご覧いただけます。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願いします。

日本ビーシージー製造株式会社
カスタマーセンター
東京都文京区大塚一丁目 5 番 21 号
TEL 03-5395-5590
受付時間：月～金曜日 9:00 ～ 17:00（祝日及び弊社休業日を除く）

2026年8月作成 PIDB012609-BPATA